

2018Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 江ノ島ヨットクラブジュニア 学年 9 氏名 鷲尾 青		
大会名	2018 Optimist European Championship		
開催地	Scheveningen, The Netherland		
大会期間	June 23~30, 2018		
セールNo	JPN3357	最終順位	Gold 6位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	朝晩は15°C前後、昼間は25°C前後で1日の気温差が激しかった。 日差しと紫外線は強かったが、湿度が低く暑さを感じにくかった。 水温もとても低く、ウエアはウエットスーツなど日本の冬と同じでちょうどよかった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	潮がとても強かった。(50m/min) 風は、大きな振れの周期は長く、その間に小さな振れが細かく入っていた。 海風が安定して吹いていたが、サーマルが加わると少し振れが大きくなった。 風速が強くても重い風ではなかった。
セッティングで注意したこと	その時のコンディションに対してフルパワーな状態をつくること。 船に異常がないか破損しているところがないか毎日確認する。
セーリングで注意したこと	潮が強かったのでスピードを保つことを常に考えた。
海上で練習したこと	練習には参加できませんでした。

実際のスベリはどうでしたか？	他の選手にスベリで劣っていると感じたことはなかった。
スタートは、どうでしたか？	向かい潮と押し潮でポジションの取り方を変えなければいけなかったのが難しかった。 強い向かい潮の中でのスタートが成功しなかった。 潮で流されて混雑したラインエンドでケースに巻き込まれることがあった。
コース戦略はどうでしたか？	潮と風のどちらを優先してコースを組み立てるかよく考えた。 逆に潮を意識すぎて失敗してしまったリリースの途中で潮が転流することがあったのでその時の状況に的確なコースを引くことが少し足りなかった。
自分より上位の選手との違いは？	スタートラインで混雑から抜け出すのも上手だったけれど混雑に巻き込まれないようにポジション取りをするのが上手だった。 チャンピオンはレース中ずっとものすごいフルハイクで圧倒的に体力があった。
国内の練習で役立ったこと	練習してきたこと全て。
国内の練習で足りなかったこと	自分より速かった選手に対して劣っていること全て。 混雑でのスタートや体力づくりなど。
印象に残った外国選手は？	ARG3799 Victoria.C.Mackinnon チャンピオンの風格があっかかりよかった。 終盤の追い上げがすごく、気持ちが強かった。 彼女はオリンピック金メダリストになるらしいのでオリンピックで勝負してみたい。
行く前と、行ってからで違ったことはありませんか？	もっとセーリングが好きになったこと。
今後の課題と目標は？	全日本優勝
JODA への要望	特ありません。
その他	ご支援してくださった皆様へ感謝しています。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会